

自転車シミュレーターを利用した交通安全教室

自転車シミュレーターを利用し、学校等において、自転車の参加・体験・実践型の交通安全教室を実施することができます。

自転車シミュレーターとは

道路でおこるさまざまな交通状況をリアルに再現して、危険な場面も安全に疑似体験できます。

交通ルールや危険予測・回避トレーニングを実践的に学習することができ、小学生低学年から高齢者まで幅広い年齢層で活用ができる交通安全教育機器です。

○実践例（自転車シミュレーターの実践と自転車実技指導を組み合わせた交通安全教室）

- 1 開校式
- 2 講義（小中学生の事故の状況，自転車の安全な乗り方、交通法規）
- 3 自転車シミュレーター実践（代表者5～6人）
- 4 閉校式



- ・交通安全教室の講師として、職員を学校へ派遣することも可能です。
- ・自転車シミュレーターは、県庁へ取りに来て頂くことが原則です。（※搬送できる車両が県にはないため）
- ・市町村に数日間貸し出して、市町村内の学校で計画的に実施して頂くことも可能です。
- ・予約や日程調整については、電話でご相談下さい。

<いばらき安全なまちづくりガイドHP>

<https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukanky/seibun/anzen/kotsu/04kyozai/index.html>